

I. 感染対策チーム（ICT）



【Clean handキャンペーン】

2010年度より毎年ICTを中心に医師、看護師、薬剤師、検査技師（細菌、放射線科）、リハビリテーションセンター、栄養部、事務職などによる約30名のプロジェクトチームを結成し、多職種による全病院的なキャンペーンの運営にあっている。「蛍光塗料を用いた流水と石けんによる手洗い」「アルコール手指消毒」を隔年毎に実施しており、2023年度からは手指衛生のみならず標準予防策を伝える機会として、キャンペーンを開催している。

参加者は2,164名であり、全スタッフの87.2%の参加が得られた。職種別では常勤医師 528/665名（79.4%）（教授76.4%、准教授・講師 81.4%、助教・病院助手 78.3%、レジデント・研修医 78.6%）、看護師 893/955名（93.5%）、その他のメディカルスタッフ 489/558名（87.6%）、事務職 254/303名（83.8%）だった（I-1）。

【環境ラウンド】

2011年度より看護部感染防止委員会によるラウンドを開始し（それまでは自主チェック）、2012年9月から感染制御部によるラウンド、2016年4月からICTによる多職種ラウンドを開始した。ラウンドは①病棟部門は1部署あたり1回/月、②侵襲的な手術・検査を行う外来、中央部門は1部署あたり1回/2か月、①②に該当しない部署は1回/年、定期的に行い、2024年度の年間総ラウンド回数は病棟部門48回のべ300部署、中央部門36回のべ90部署、それ以外の部署は16回のべ32部署であった。

【耐性菌の遺伝子解析】

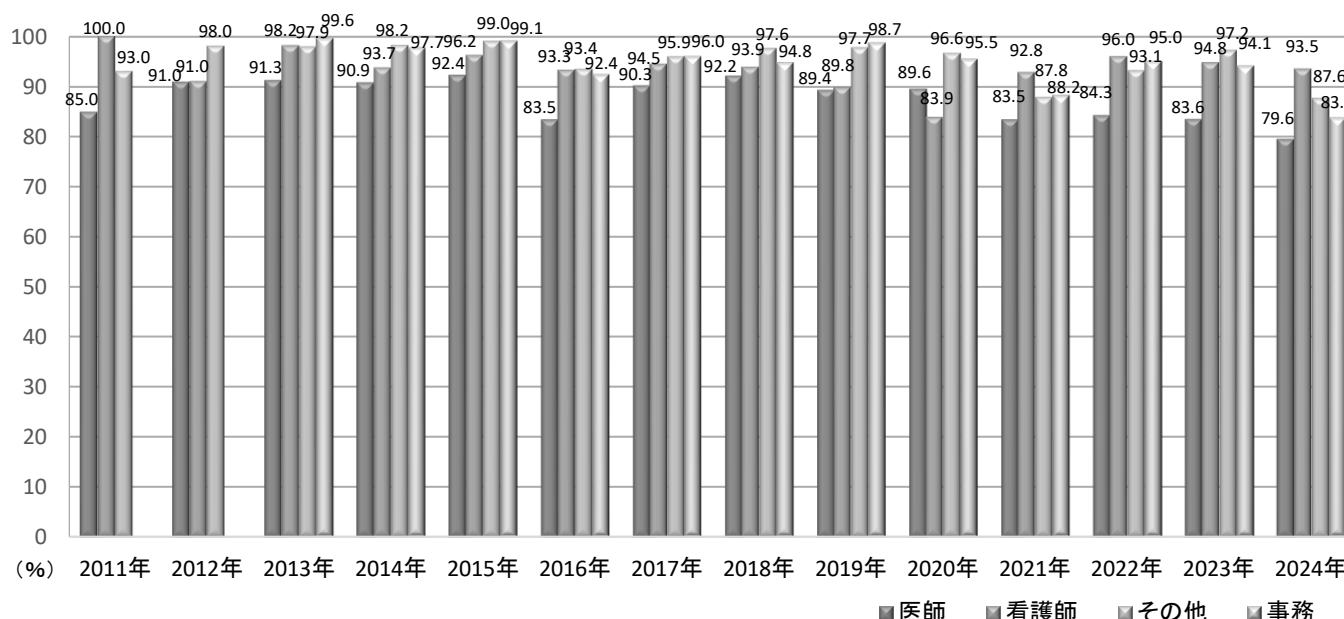
院内においてMRSA等によるアウトブレイクが疑われた際、POT法やrep-PCR法などで（遺伝子型を調べ）分子疫学解析を行うことにより、同一菌による院内感染かどうかの指標としている。2023年からは新規に検出されたMRSA全件に対してPOT法を行い、院内での伝播状況の早期把握に努めている。

2024年度はPOT法313件（MRSA 278件、大腸菌 10件、緑膿菌25件）、rep-PCR法10件（肺炎桿菌10件）行った。

チーム医療の様子 -Clean hand キャンペーン-



I-1 Clean handキャンペーン職種別参加者割合の推移



全体	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
参加率	2,347 (92%)	2,392 (88%)	2,518 (84.7%)	2,398 (92.2%)	2,301 (92.2%)	2,164 (87.2%)